

# 業務部速報

No. 22

発行 14. 9. 30

JR東労組 業務部

## 申7号 京浜東北・根岸線および横浜線の乗務員基地再編成に関する緊急解明申し入れ団体交渉

9月29日14:00~22:15、申7号3回目の団体交渉を行いました。 **3回目**

これまで2回の交渉(12日、18日)を行ってきましたが、改めて今施策の目的に示されている“輸送品質の向上”を具体的に求め議論してきました。

### 第1項 下十条運転区の先行廃止理由および施策を実施することにより輸送品質が向上するとする具体的な根拠を明らかにすること。

#### 施策の目的

①輸送の安定性 ②効率的な業務運営 ③女性の配置拡大

#### 会社の考え

- 輸送の安定性とは、①お客様への迷惑度を少なくすること ②首都圏においては、ダイヤが乱れた時に等間隔に目的地に輸送を提供できること。
- 南浦和駅での入区時の到着番線は、下中→下本(大宮行)→上中→下本(大宮行)→下中…の順序で行い、今までのやり方を踏襲する。
- 東十条駅構内に留置を少なくする効率性は、①列車の使命としての判断 ②検修と清掃を一箇所集約する③乗務員の行路を考えるにあたって、便乗を少ない方が良い。
- 東十条駅での乗務員交代をなくし、調整業務を減らしていく。  
※調整業務とは、①区所間の調整(i車両の出入区 ii乗務員の操配) ②指令と区所間
- 浦和車掌区の京浜東北線担当車掌が少ないので、現行より数十名規模の異動を平成27年3月のダイヤ改正に合わせて実施したい。異動時期を前回の交渉回答より早めた理由は、前回の議論を経て変更した。安全を大前提にした施策である。
- 風規制の影響により車両を集中した南浦和から出区できない場合も、折り返し設備の制約はあるが輸送力は確保出来る。更に折り返し変更や留置車両の活用、入換補助なども検討していく。

#### 組合の主張

- 調整業務は、さいたま車両センター(仮称)と磯子の入出区等が発生するため削減にならない
- 北側(南浦和~下十条)が減ったとしても、南側(磯子~蒲田)は増えるだけだ!!
- 浦和車掌区への異動時期は認められない!教育スケジュールが示されない

別途提示を確認!!

### 第2項 乗務員基地再編成に伴う線区全体の女性設備整備スケジュールを具体的に明らかにすること。

#### 女性トイレ現状と今後の改善計画

蒲田駅	北行	大船方車掌詰所	現在はトイレなし	→	間内改良しH26年度中の整備
	南行	大宮方	現在は男性のみ	→	設置に向けて勉強中
南浦和駅	北行	大船方	現在は公衆トイレ	→	設置に向けて検討を行う
	南行	大宮方	現在はトイレなし	→	平成27年度夏頃設置
磯子駅		大船方	現在は緊急トイレ	→	建設予定の新庁舎を使用

#### 組合の主張

- 施策の目的にある女性の配置箇所拡大や設備の拡充をするチャンスと言うなら、支社長財源だけでなく、本社の財源も使うべきだ!!
- 蒲田駅ホーム詰所は今でも座れない時がある。ホーム詰所の機能を果たしていない!!
- 浦和車掌区への異動時期の問題もあり、女性設備は規模を明確にして行うべきだ!!

一人ひとりが納得感のある施策を実現しよう!!